

# 研究支援



## 多くの研究活動を支える、多彩なバックアップ制度



### 研究助成金

博士後期課程大学院生への助成金として研究助成金(A)および(B)があります。博士後期課程に在籍する大学院生に対し、学術活動を奨励し、高度な研究能力と豊かな学識を有する若手研究者を育成するため、経済的な支援を行うことを目的としています。

#### ■ 大学院博士後期課程研究助成金(A)

**支給対象者** 本学大学院博士後期課程標準修業年限内の在籍者に原則として全員給付。  
※新入生を含む在籍生に適用。

**支給額** 文系 年額20万円 | 理系 年額30万円  
(2017年度実績)

研究助成金(A)については、原則として標準修業年限内の博士後期課程在籍者に支給します。一方、研究助成金(B)は、博士後期課程在籍者全員を対象とし、博士後期課程に在籍中の研究活動やその実績を重視し、受給者を選抜しています。  
※研究助成金(A)、(B)いずれも申請が必要です。

#### ■ 大学院博士後期課程研究助成金(B)

**支給対象者** 博士後期課程に在籍者で指導教員の推薦を受け、優れた研究実績のある者(全体の20~30%程度)に給付。  
※新入生を含む在籍生に適用。

**支給額** 文系 年額20万円 | 理系 年額30万円  
(2017年度実績)



### さまざまな 研究支援制度

学生の研究力の向上や経済的支援を目的とした制度や環境を設けています。2010年度より進めている大学院改革の流れを受け、2016年度には新たな制度も導入。今後も、大学院全体のさらなる高度化を推進していきます。

#### ■ 博士論文出版助成金制度

##### 制度

本大学院の博士後期課程に在籍し、博士の学位を取得した方、または課程によらない論文博士を対象とした制度です。学位取得後5年以内の方を対象とします。優れた博士論文を単行本として出版する費用について、1人につき100万円を上限とし、実費を支給します。

#### ■ チューター制度

##### 制度

本大学院に在籍する学生の教育研究を支援するため、上級生がチューター役となり、研究生や研究生などを含む原則留學生の下級生に対し、研究指導をはじめ大学院における生活全般にわたる指導を行うプログラムです。チューターに採用された学生には、大学が指導料(報酬)を支給します。

#### ■ 外国語論文掲載料等補助制度

##### 制度

博士後期課程の学生を対象に、外国語による論文が外国発行の学術誌に掲載された場合に、その掲載に係る経費の一部を補助する制度です。2016年度から、この制度を導入しました。

#### ■ 諸外国語による論文等校閲補助制度

##### 制度

大学院では、国内外の学会発表や論文を、英語をはじめとする諸外国語で執筆する場合があります。その際、学生が外国語で執筆した論文などの校閲を第三者に依頼できる制度です。校閲費用について一定金額を助成します。

#### ■ 海外における研究活動補助制度

##### 制度

海外で開催される学会や研究会などで発表するために渡航する場合、航空運賃、宿泊費、現地交通費などの多額の費用が必要となります。公募により審査を経た上で、それら費用について一定金額を助成します。

#### ■ 学会発表奨励金

##### 制度

大学院生の学会における活動を奨励し、学術研究の促進を図るため奨励金を給付しています。対象者は、学会において研究発表、報告などを行う修士課程または博士後期課程の学生で、学会に出席するための交通費および宿泊費の実費で、学生1人につき毎年度原則1回、限度額3万円です。対象の学会は、日本学術会議に登録された全国規模の学会またはこれに準ずる学会です(ただし、開催地が東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の場合を除く)。

#### ■ 学生研究奨励金

##### 制度

優秀な学術研究論文を発表した人に対し、選考の上奨励金を給付しています。大学院在学中に執筆し、かつ在学中の研究成果として刊行された論文を対象としており、1人4万円です(2016年度採用実績:50名)。

### VOICE | 私が利用した制度

#### 奨学金のおかげで 目標だった留学を経験できました



#### 浦川 智子

人文科学研究科  
英文学専攻  
博士後期課程 2016年度満了

イギリス文学を専攻しており、19世紀末のオスカー・ワイルドを中心に文化や時代背景を研究しています。法政大学大学院を選んだ理由の一つに充実した奨学金制度があります。大学院ではイギリスへの留学を一つの目標にしていたので、給付型奨学金である「留学補助金」や「法政大学100周年記念大学院特別奨学金」を活用しました。留学補助金は長期留学する学生に最大で150万円※支給される法政大学の奨学金です。イギリスの大学院の授業料は法政大学大学院の3倍以上もかかり高額なので、留学補助金をいただけたことは本当にありがたく思っています。留学先の大学院では戸惑うこともありましたが、ディスカッション形式の授業が中心で、現地の方々との意見を交わし研究できたことは良い思い出です。また、休みの日には文学作品や映画の舞台となった場所を巡ることができ、長期留学していたからこそ経験できたことも多くありました。留学を視野に入れている方には、「留学補助金」などの奨学金制度を活用してステップアップとなる留学を実現してもらえたらと思います。  
※2017年度は100万円程度を給付

#### 手厚いサポートは 研究の大きな励みになります



#### 山口 清道

デザイン工学研究科  
システムデザイン専攻  
博士後期課程 在学中  
JIPテクノサイエンス株式会社勤務

「博士後期課程研究助成制度(A)(B)」のサポートは大きく、授業料などの学費が半額になるので、その分にあつては費用を研究活動や仕事のためのスキルアップに役立てています。特に研究助成制度(B)は研究活動や実績の審査があるため、研究に取り組むモチベーションや向上心を高めることにもつながっています。自分の研究を前進させるためには国内外の学会で発表論文発表が欠かせないため、「学会発表奨励金」や「海外における研究活動補助制度」を活用し、渡航費、宿泊費、学会の登録料や参加費を捻出しています。研究では先輩にプログラミングなどのサポートをしてもらいながら、先輩の指導も行う「チューター制度」を利用しています。国際学会で発表する論文を投稿する際には「諸外国語による論文等校閲補助制度」を活用し、専門用語などの校閲にかかる費用を助成してもらっています。今後は「外国語論文掲載料等補助制度」や「博士論文出版助成金制度」なども利用して研究論文を発表していきたいと思っています。